

主な事業内容

1. 法人運営事業

(1) 理事会

社会福祉法人として適正な運営と事業の推進を図るため、理事会を適時開催しました。

第1回 令和6年5月28日 総合福祉センター研修室1

- ①令和5年度事業報告及び決算
- ②第1回評議員会（定時評議員会）の招集について
- ③第1回評議員選任・解任委員会の招集について
- ④評議員選任候補者の推薦について

出席理事9名 出席監事2名

第2回 令和6年10月30日 総合福祉センター研修室2

- ①第52回社会福祉大会の開催について

会長・常務理事の職務執行状況報告

出席理事10名 出席監事1名

第3回 書面決議

- ①第2回評議員会（定時評議員会）の招集について

第4回 令和7年3月25日 総合福祉センター研修室1

- ①事務局職員就業規程の一部を改正する規程の制定について
- ②職員給与規程の一部を改正する規程の制定について
- ③令和6年度資金収支補正予算（第1号）
- ④令和7年度事業計画及び資金収支予算

会長・常務理事の職務執行状況報告

出席理事10名 出席監事2名

(2) 評議員会

社会福祉法人として適正な運営と事業の推進を図るため、評議員会を随時開催しました。

第1回 令和6年6月14日 総合福祉センター研修室4・5

- ①令和5年度事業報告及び決算

出席評議員18名 出席監事2名

第2回 令和7年3月25日 総合福祉センター研修室1

- ①令和6年度資金収支補正予算（第1号）
- ②令和7年度事業計画及び資金収支予算

出席評議員23名

(3) 評議員選任・解任委員会

本会の評議員の選任・解任を行うため、評議員選任・解任委員会を開催しました。

第1回 令和6年6月14日 総合福祉センター福祉相談室

- ①評議員の選任について

出席委員4名

(4) 監事による決算監査

法人運営の適正化を図るため、監査を実施しました。

令和6年5月9日 社協事務所 出席監事2名

(5) 社会福祉基金の管理

社会福祉基金の適正な管理に努めました。

前年度末残高 40,306,288 円

利 息 900 円

当年度末残高 40,307,188 円

主な事業内容

(6) たかはぎFMで福祉情報番組「福祉たかはぎ」放送の情報提供

社協事業や社協支部活動、ボランティア活動等の情報提供を行いました。

放送時間帯 月曜日から金曜日の午後0時30分前後(5分程度)

(7) 社協広報紙「福祉たかはぎ」発行

社協広報紙「福祉たかはぎ」にて、社協事業や福祉情報等を住民に発信し、啓発を行いました。

年4回発行(第116号～第119号)

(8) ホームページの運営 (<https://www.takahagi-shakyo.jp/>)、フェイスブック等のSNSの活用

社協ホームページやフェイスブックにて、社協事業や福祉情報等を発信し、啓発を行いました。

(9) 第5次地域福祉活動計画の評価・見直し(令和4年度～令和9年度)

市全域で地域福祉を一体的に進めていくため、高萩市と協働で地域福祉活動計画を策定し、各計画の評価・見直しについて、委員の皆様にご検討いただきました。

① 地域福祉活動計画策定委員会

第1回 令和7年3月14日(地域福祉計画策定委員会と合同)総合福祉センター研修室1
出席策定委員14名

2. 地域福祉推進事業

(1) 社協支部役員研修会

社協支部との連携強化と活性化を目的に研修会を開催いたしました。

第1回 令和6年7月22日 総合福祉センター研修室1

①ゲートキーパー養成講習 日立梅ヶ丘病院地域連携部副部長
茨城県精神保健福祉士会会長 富田靖英 氏

②社協事業、事務説明 参加者34名

第2回 令和7年2月12日 総合福祉センター会議室4・5

①防犯講話「空き巣等被害の現状と防犯対策について」 茨城県高萩警察署職員

②消費生活講話「消費生活相談の状況」 消費生活相談員

③社協事業、事務説明 参加者32名

(2) 社協支部活動費交付金の交付(29支部)

社協支部が行う地域福祉活動に対し、活動費を交付しました。

第1種会員会費 2,456,400円×80%=1,965,120円

(3) 社協支部事務費交付金の交付

社協支部に対し、事務費を交付しました。

15,000円×29支部=435,000円

(4) 社協支部敬老行事事業助成金の交付

社協支部が行う敬老行事の実施に対して助成金を交付しました。

26支部 計 434,040円

(5) 85歳者敬老祝品(タオル)の贈呈

社協支部の協力のもと85歳者に対し、敬老祝品バスタオルを贈呈しました。

贈呈対象者 240名

主な事業内容

(6) 在宅高齢者等支援事業助成金の交付

社協支部が行う配食サービス、友愛訪問、ふれあいいきいきサロン事業実施に対して助成金を交付しました。

支部名	内容			金額(円)	
	配食サービス	友愛訪問	ふれあいいきいきサロン		
1	社協高萩支部	-	○	-	29,000
2	社協安良川支部	○	○	-	100,000
3	社協東地区南支部	○	-	-	90,525
4	社協東地区北支部	-	○	-	2,500
5	社協島名下支部	-	○	-	4,865
6	社協島名中央支部	-	○	-	4,660
7	社協向洋台支部	-	-	○	13,950
8	社協竹内支部	-	○	-	9,850
9	社協秋山上北方支部	-	○	-	5,432
10	社協秋山中支部	-	-	○	16,500
11	社協秋山下支部	-	○	-	2,160
12	社協山手地区北支部	-	○	-	100,000
13	社協行人塚石河原支部	-	○	○	15,777
14	社協下手綱支部	-	○	-	43,565
15	社協上手綱下組支部	-	○	-	11,236
16	社協上手綱南組支部	-	○	○	22,641
17	社協上手綱北組支部	-	○	○	22,005
18	社協山手地区南支部連協	-	○	-	61,154
計		2	15	5	555,820

(7) 地域福祉活動事業補助金の交付

地域福祉の推進を図るため、社協と協働・連携して事業を行う団体に対し、交付しました。

団体名(事業内容等)	金額(円)
ボランティア連絡会	170,000
高齢者クラブ連合会(スポーツ大会、高齢者福祉大会)	60,000
母子寡婦福祉会(母子草購読料)	26,000
遺族会	20,000
障がい者の集い実行委員会(障がいのある人のアート展)	20,000
計	296,000

(8) 災害見舞金の支給

市民が災害を受けたときに被災者に対して災害見舞金を支給し、市民の生活安定と福祉の増進を図りました。また、被災者の支援を図るため、茨城県共同募金会より支給された、緊急助成金も併せて支給しました。

配分	災害区分		件数	金額(円)
社会福祉協議会	火災	全焼	3	60,000
茨城県共同募金会	火災	全焼	3	90,000

○令和5年台風13号に伴う災害見舞金の支給

台風13号により被害を受けた世帯に対して災害見舞金を支給しました。

配分	災害区分		件数	金額(円)
社会福祉協議会	水害	床上浸水	5	50,000

主な事業内容

(9) 第 52 回高萩市社会福祉大会

社会福祉事業に功労のあった者、社会福祉活動が優秀な社会福祉団体及び社会福祉活動に協力援助した功績顕著な者を顕彰しました。

令和 6 年 12 月 14 日 総合福祉センター多目的ホール

- ①顕彰 高萩市社会福祉協議会会長表彰 受賞者 26 名
- ・民生委員児童委員 4 名
 - ・社会福祉団体の役員 3 名
 - ・社会福祉協議会支部役員 3 名
 - ・社会福祉活動協力団体の会員 2 名
 - ・社会福祉施設の職員 13 名
 - ・ボランティアグループの会員 1 名
- ②福祉寄席 万葉亭小太郎 氏、流しのでっちゃん 氏 参加者 170 人

(10) 第 74 回茨城県社会福祉大会

社会福祉事業に功労のあった者、社会福祉活動が優秀な社会福祉団体及び社会福祉活動に協力援助した功績顕著な者が顕彰されました。

令和 7 年 2 月 20 日 ザ・ヒロサワ・シティ会館

- 茨城県知事表彰 受賞者 3 団体・個人 6 名
- 茨城県社会福祉協議会会長表彰 受賞者 1 団体・個人 7 名
- 茨城県共同募金会会長表彰 受賞者 1 団体

(11) コミュニティサロン支援事業

サロンの立上げや運営に関する相談のほか、活動費の助成や支援を行いました。

	サロン名	開催場所	金額 (円)
1	野の花サロン	和野集会所	17,500
2	下組サロン	下組生活改善センター	25,000
3	しましまサロン	向洋台集会所	25,000
4	高浜ハッピーサロン	高浜住宅集会所	25,000
5	サロンはまなす会	駒形集会所	30,000
6	友遊千代町サロン	上島名千代町集会所	25,000
7	サロンアジサイ会	千代田集会所	30,000
8	サロンさわらび	代表自宅 (中戸川)	30,000
9	まちなかサロン	高萩やすんでっ亭	15,000
10	ティアラサロン	山手集落センター	30,000
11	サロンひまわりの会	島名集会所	25,000
合 計			277,500

○コミュニティサロン交流研修会

サロン間の交流により、サロン同士のつながりや魅力あるサロン作りの推進を図ることを目的に研修会を実施しました。

令和 7 年 3 月 6 日 総合福祉センター研修室 2

- ①講話「SDGs を学んで『木の葉切り絵』講座他」 講師 鈴木 智信 氏、サポートメンバー
- ②情報交換 参加者 17 名

(12) e スポーツ体験会

e スポーツを活用した介護予防や地域づくりの推進を目的として、e スポーツに対する理解を深め、住民相互の交流を図るため、体験会を実施しました。

令和 6 年 12 月 2 日 総合福祉センター会議室 2・3

講話「e スポーツとは？」

説明者 茨城県社会福祉協議会職員 参加者 18 名

主な事業内容

(13) 共同募金配分調査

民生委員の協力により、共同募金配分世帯等の調査を実施しました。

(14) 歳末たすけあい募金配分金

支援を必要としている世帯等への見舞金や年末年始に交流事業等を実施した団体に対して配分を行いました。

対 象	対象者数等	金額(円)
支援を必要としている世帯	6 世帯	60,000
児童養護施設入所児	73 人	365,000
歳末福祉対策事業	29 支部・1 連協	895,400
社会福祉施設餅米配分経費	市内 10 施設	64,680
福祉団体支援事業	6 団体	251,000
福祉情報提供(広報)事業		4,354
計		1,640,434

(15) 生活支援体制整備事業

日常生活上の支援体制の充実及び高齢者の社会参加の促進を図るため、生活支援体制整備事業の第 2 層協議体運営業務を実施しました。

①第 2 層協議体（秋山中学校区）総合福祉センター会議室 2

第 1 回	令和 6 年 4 月 22 日	参加者（協議体メンバー 6 名、高齢福祉課職員 3 名、社協職員 3 名）
第 2 回	令和 6 年 7 月 24 日	参加者（協議体メンバー 8 名、高齢福祉課職員 1 名、社協職員 2 名）
第 3 回	令和 6 年 11 月 19 日	参加者（協議体メンバー 7 名、高齢福祉課職員 2 名、社協職員 2 名）

②第 2 層協議体（松岡中学校区）総合福祉センター会議室 2

第 1 回	令和 6 年 4 月 22 日	参加者（協議体メンバー 6 名、高齢福祉課職員 3 名、社協職員 3 名）
第 2 回	令和 6 年 7 月 23 日	参加者（協議体メンバー 2 名、高齢福祉課職員 2 名、社協職員 2 名）
第 3 回	令和 6 年 11 月 19 日	参加者（協議体メンバー 8 名、高齢福祉課職員 2 名、社協職員 2 名）

③第 2 層協議体（高萩中学校区）総合福祉センター会議室 2

第 1 回	令和 6 年 4 月 23 日	参加者（協議体メンバー 3 名、高齢福祉課職員 3 名、社協職員 3 名）
第 2 回	令和 6 年 7 月 23 日	参加者（協議体メンバー 5 名、高齢福祉課職員 2 名、社協職員 2 名）
第 3 回	令和 6 年 11 月 20 日	参加者（協議体メンバー 7 名、高齢福祉課職員 1 名、社協職員 2 名）

④生活支援体制整備事業 3 地区協議体合同研修会 総合福祉センター研修室 1

令和 7 年 2 月 27 日 参加者（協議体メンバー 19 名、高齢福祉課職員 1 名、社協職員 4 名）

講話「空き巣等被害の現状と防犯対策について」

講師 茨城県高萩警察署生活安全課係長 上遠野 俊章 氏

(16) 低所得世帯等に対する小口生活資金の貸付及び援助指導

福祉相談窓口として、生活不安を抱える低所得世帯の経済的自立を支援するため、福祉資金貸付の適正な実施に努めました。 相談 4 件、貸付 0 件（貸付金 0 円）

(17) 生活福祉資金の貸付相談及び状況調査（県社協受託事業）

貸付相談窓口として、生活福祉資金貸付相談の適正な実施に努めました。また、民生委員の協力のもと貸付者の状況調査を実施しました。 貸付相談 26 件、貸付件数 0 件（貸付金 0 円）

(18) 生活福祉資金の新型コロナ特例貸付フォローアップ支援（県社協受託事業）

特例貸付の償還免除申請や償還困難な借受人へのフォローアップ支援に努めました。

①償還免除を行った借受人へのフォローアップ支援件数（償還免除申請等の支援） 1 件

②償還免除に至らないものの償還が困難な借受人へのフォローアップ支援件数（償還猶予申請等の支援） 10 件

主な事業内容

3. ボランティア活動推進事業

(1) 社協ボランティアセンター運営委員会の開催

地域におけるボランティア活動の振興と市民の善意を適正かつ効果的に活用するため、運営委員会を開催しました。

第1回 令和6年7月4日 総合福祉センター会議室4

- ①委員長・副委員長の選任について
- ②令和5年度善意銀行預託及び配分実績報告について
- ③令和6年度善意銀行預託及び配分中間報告について
- ④令和6年度善意銀行配分について 出席委員 8名

第2回 令和7年3月7日 総合福祉センター会議室2・3

- ①令和6年度善意銀行預託及び払出状況報告について
- ②令和6年度事業及び決算見込報告について
- ③令和7年度事業計画及び予算について(案)
- ④令和7年度善意銀行配分(各種団体の事業)について(案) 出席委員 7名

(2) 善意銀行預託者(香典返しの一部)への回転灯籠、線香贈呈

預託者(香典返しの一部)に故人の新盆前に回転灯籠、線香の贈呈をしました。

回転灯籠0件、線香2件

(3) ボランティア室や機材等の貸出

ボランティア活動振興の拠点として、ボランティア室や機材等の貸出を行いました。

延利用人数 217人

(4) ボランティア活動保険料助成

ボランティア活動保険の加入受付及び保険料の助成を行いました。

プラン	加入者数(人)	市社協助成(円)	加入者負担(円)	合計(円)
基本・天災タイプ	379	37,900	95,950	133,850

(5) 児童・生徒のボランティア活動普及事業協力校の指定と支援

社会福祉の理解と関心を高め、ボランティア実践、社会連帯の精神を養成するため、児童・生徒のボランティア活動普及事業協力校を指定し、児童・生徒を通じて家庭及び地域社会への啓発を図りました。

指定校9校(市内小学校4・中学校3校・高校2校)

(6) 小学生福祉体験学習

小学生を対象に社会福祉への理解と関心を高め、福祉の芽を育てることを目的に開催しました。

令和6年8月19日 総合福祉センター多目的ホール

- ①講話「見えないってどんなこと?～アイメイト(盲導犬)と出かけよう!～」
講師 佐藤 由紀子 氏、アイメイト(盲導犬)クラリスちゃん
- ②手話体験 講師 高萩手話サークル 参加者 小学6年生 12名

(7) 中学生福祉体験学習(障がい者サポーター養成講座同時開催)

中学生を対象に社会福祉への理解と関心を高め、福祉の芽を育てることを目的に開催しました。

令和6年8月1日 総合福祉センター多目的ホール

- ①講義「障がい者サポーターについて」 講師 社会福祉課職員
- ②点字体験 講師 たかほぎ点訳友の会 参加者 中学生 16名

主な事業内容

(8) ボランティア連絡会への補助及び協力

ボランティア連絡会に補助金を交付し、ボランティア活動の活性化を図りました。

①視察研修

令和6年10月24日 栃木県防災館見学 参加者26名

②高萩市産業祭

令和6年11月17日 ボランティア連絡会活動内容広報周知 参加者23名

③福祉のまちづくり研究集会（第41回ボランティア交流会）

令和7年2月21日 総合福祉センター多目的ホール 参加者80名

講演 「DV被害の実態～ダイバーシティ社会の実現のために知っておくべきこと～」

講師 NPO法人ウィメンズネット「らいず」 理事・事務局長 坂場 由美子 氏

(9) ボランティアグループ活動費助成

ボランティアグループに助成金を交付し、ボランティア活動の活性化を図りました。

	ボランティアグループ名	助成金（円）
1	たかはぎ食事サービスグループ	13,000
2	たかはぎ読み聞かせグループ	10,800
3	高萩手話サークル	11,300
4	高萩レインボーおはなしの会	10,700
5	傾聴よりそいグループ	11,200
6	たかはぎ点訳友の会	10,800
7	高萩市シルバーリハビリ体操指導士会	15,900
8	高萩市高校生会	11,400
	計	95,100

(10) 音訳・点訳広報等発行事業

市内の視覚障がい者等に市報、議会だより、福祉たかはぎを音訳、点訳して情報提供しました。

音訳サービス 高萩読み聞かせグループ 利用者4名

点訳サービス たかはぎ点訳友の会 利用者3名

(11) 学校の総合学習や団体の研修会等への講師派遣

登録ボランティアグループ、社協職員を派遣し、福祉体験学習を実施しました。

- ・高萩小学校、東小学校、秋山小学校、高萩中学校、高萩清松高等学校へ職員派遣
- ・高萩清松高等学校に登録ボランティアグループ（高萩手話サークル、高萩点訳友の会）派遣

(12) 福祉体験用具の貸し出し

福祉体験学習等を実施する学校や団体等に体験用具の貸し出しを行いました。

車イス、シニア体験セット、視覚障がい者体験セットの貸し出し6件

（秋山小学校、東小学校、高萩小学校、高萩中学校、松岡中学校、高萩清松高等学校）

(13) フードバンク事業

NPO法人フードバンク茨城と連携して、「きずなBOX」を事務所内に設置し、市民や企業から多くの食品の寄附にご協力をいただきました。寄附された食品は、必要としている世帯等に提供しました。米、乾麺（うどん、そばなど）、缶詰、菓子、インスタント食品など。

寄附件数 26件 166kg 提供件数 25件 123kg

主な事業内容

(14) 善意銀行運営事業

市民の善意を適正かつ効果的に活用するため、適正な運営に努めました。

(預託)

区分	件数	金額(円)
金員	36	629,448
物品※	12	—

※未使用タオル、介護用衛生用品、米、車椅子等

(配分)

区分		金額(円)
社会福祉 団体等	子ども会育成会連合会(サマージャンボリー)	44,800
	青少年相談員協議会(少年探検講座「花貫の源流を探る」)	10,500
社協事業	心配ごと相談所運営費	380,295
	85歳者敬老祝品(タオル)の贈呈	160,000
	ボランティア協力校助成金	160,000
	ボランティアセンター整備事業	38,971
	社会福祉大会経費	238,000
	令和5年台風13号災害見舞金	50,000
計		1,082,566

前年度末残高	4,368,668 円
預託金	629,448 円
配分金	1,082,566 円
当年度末残高	3,915,550 円

(15) 使用済み切手、使用済みプリペイドカード等の収集

市民や学校、企業、団体の方々より、多くの物品の収集にご協力をいただきました。

使用済み切手と使用済みプリペイドカード等は、茨城県社会福祉協議会へ届け、ボランティア活動や社会貢献活動に協力しました。

(16) 災害ボランティアセンター情報交換会

令和5年台風13号で被災した3市において、災害ボランティアセンター運営について問題点や課題、必要な知識と技術を共有するため、情報交換会を実施しました。

令和6年7月8日 総合福祉センター和室3

情報交換「各災害VC運営状況等報告及び情報共有・意見交換」

参加者 北茨城市社協4名、日立市社協3名、高萩市社協5名

(17) 令和6年能登半島地震被災地への災害救援職員派遣

能登半島地震への支援のため、関東ブロック都県・指定都市社協災害協定に基づき、職員を輪島市社会福祉協議会に派遣しました。輪島市災害たすけあいセンター(門前支所)の業務に携わり、復旧・復興のため支援を行いました。

派遣期間 令和6年7月17日～7月23日 派遣人数1名

(18) 災害ボランティア研修会(茨城県社会福祉協議会と共催)

災害時に必要な知識や技術をもって対応していただける災害ボランティアを養成することを目的として、研修会を実施しました。

令和7年1月11日 総合福祉センター会議室4・5及び多目的ホール

研修①「災害ボランティアセンターと社会福祉協議会」 茨城県社会福祉協議会職員

②「災害ボランティア活動と防災気象情報」 水戸地方気象台職員

③「災害ボランティアセンター通じた地域のつながり」 防災活動アドバイザー

訓練①「災害ボランティアセンター運営訓練」 防災活動アドバイザー 参加者37名

主な事業内容

4. 在宅福祉サービス推進事業

(1) 暮らしに活かす介護講習会

福祉・介護分野に関する知識や技術を提供し、福祉・介護人材の参入促進を図るため講習会を開催しました。

令和7年3月7日 総合福祉センター会議室4・5

①講義・実技「家庭で実践できる介護技術の基礎」

講師 高萩市社会福祉協議会ホームヘルプサービス事業所サービス提供責任者 参加者 11名

(2) 「食」の自立支援サービス事業（配食サービス事業）

たかはぎ食事サービスグループと運転ボランティアの協力のもと、おおむね65歳以上の一人暮らし高齢者や高齢者世帯を対象に、月1回、ボランティアの手作りによる、栄養士考案、管理栄養士監修のフレイル予防弁当を提供するとともに利用者の安否確認を行いました。

実施状況 年間実利用者数 160名

	4月	5月	6月	7月	9月	10月
利用者数	127	124	131	126	129	135
利用料金	18,900	18,400	19,500	18,000	17,700	19,100
	11月	12月	1月	2月	3月	計
	125	122	123	127	128	1,397
	17,300	17,000	17,700	17,700	17,800	199,100

○健康に関するチラシの配布

高齢福祉課からの依頼により、高齢者の健康の保持や増進を目的とした、健康に関するチラシを配布しました。

(3) 在宅福祉サービスセンター運営事業

住民参加による支え合い活動として、利用会員・協力会員の登録によるサービスの実施とコーディネーターによる相談・調整支援を実施しました。

①会員・利用者の構成

登録協力会員(名)	登録利用会員(名)	実利用者(名)
31	94	11

②利用状況

サービス名	在宅福祉サービス	
	回数	時間
掃除	171	177
通院・外出付添い	34	41
買物	3	3
計	205	218

③協力会員研修会

第1回 令和6年11月21日 総合福祉センター研修室1

研修①「応急手当講習会（普通救命コース）」

講師 高萩消防署 救急救命士・消防士 参加者 11名

第2回 令和6年12月3日 総合福祉センターボランティア室

研修①「意見交流及び活動報告」 参加者 5名

第3回 令和7年3月12日 総合福祉センターボランティア室

研修①「日常生活自立支援事業について」

②「円滑な活動を進めるために（協力会員としての心構えについて等）」

講師 社会福祉協議会職員 参加者 5名

④事務局体制 在宅福祉サービスセンターコーディネーター 1名

主な事業内容

(4) ファミリーサポートセンター事業

住民参加による支え合い活動として、利用会員・協力会員の登録によるサービスの実施とアドバイザーによる相談・調整支援を実施しました。

①会員・利用者の構成

登録協力会員(名)	登録利用会員(名)	実利用者(名)
36	46	2

②利用状況

サービス名	在宅福祉サービス	
	回数	時間
保育施設等までの送迎	76	40
乳幼児、児童の一時預り	2	2
計	78	42

③協力会員研修会

第1回 令和6年11月21日 総合福祉センター研修室1

研修①「応急手当講習会（普通救命コース）」

講師 高萩消防署 救急救命士・消防士 参加者13名

第2回 令和6年12月3日 総合福祉センターボランティア室

研修①「意見交流及び活動報告」 参加者5名

第3回 令和7年3月12日 総合福祉センターボランティア室

研修①「日常生活自立支援事業について」

②「円滑な活動を進めるために（協力会員としての心構えについて等）」

講師 社会福祉協議会職員 参加者5名

④事務局体制 ファミリーサポートセンターアドバイザー 1名

5. 心配ごと相談所運営事業

(1) 心配ごと相談所運営事業

市民の生活上の様々な相談を受け、必要に応じて関係機関を紹介するなど、適切な助言、援助を行いました。

①開設日 毎月1回 木曜日 弁護士による法律相談 12回

②相談員 民生委員児童委員4名、弁護士3名

③相談内容

相談事項	生計	離婚	住宅 土地	家族	相続	財産	詐欺	負債	裁判	その他	計
相談件数	2	2	11	3	17	2	4	2	4	1	48

6. 日常生活自立支援事業

(1) 日常生活自立支援事業

認知症高齢者、知的障害者、精神障害者など判断能力が不十分で、かつ親族等の援助が得られない方に対して、福祉サービスの利用手続きの援助や日常生活の金銭管理援助及び書類等の預りサービスなどを行い、自立した地域生活が送れるよう在宅での日常生活を支援しました。

①実施利用状況

○相談援助件数(問い合わせ・相談援助件数)

認知症高齢者等0件、知的障がい者等29件、精神障がい者等95件、その他0件 計124件

○契約締結件数1件、終了件数0件

○利用件数(3月末日現在)

認知症高齢者等0件、知的障がい者等1件、精神障がい者等2件 計3件

②事務局体制 専門員1名、生活支援員1名

主な事業内容

7. 子どもの学習支援事業

(1) 子どもの学習支援事業

生活困窮世帯等の児童・生徒に対し、学習支援や進学に関する助言等について、ボランティアの講師が、毎週1回、総合福祉センター研修室で実施しました。

①実施利用状況

○実利用者(生徒)数

学年	小4	小5	小6	中1	中2	中3	高1	計
生徒数	1	3	1	5	4	5	1	20

○延利用者数

実施月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
延利用者数	36	40	52	51	28	29	32
	11月	12月	1月	2月	3月	計	
	35	45	31	39	32	450	

○ボランティア講師 11名

○実施回数 年40回

8. 介護保険事業

(1) 訪問介護事業所の運営

利用者が有する能力に応じ、可能な限り自立した日常生活が営むことが出来るよう利用者の選択により、身体介護や生活援助等のサービスを提供しました。

①契約者数 57名

②提供時間 身体介護 503時間50分、生活援助 2,309時間、身体生活 1,071時間40分

③ホームヘルパー研修会開催及び参加

○内部研修

第1回	令和6年4月4日	ケースカンファレンス、研修	出席者12名
第2回	令和6年5月16日	ケースカンファレンス	出席者8名
第3回	令和6年6月13日	ケースカンファレンス	出席者10名
第4回	令和6年7月18日	ケースカンファレンス、研修(ハラスメント)	出席者10名
第5回	令和6年8月22日	ケースカンファレンス	出席者8名
第6回	令和6年9月12日	ケースカンファレンス	出席者10名
第7回	令和6年10月17日	ケースカンファレンス、研修(災害)	出席者12名
第8回	令和6年11月7日	ケースカンファレンス、研修(虐待)	出席者13名
第9回	令和6年12月12日	ケースカンファレンス、研修(感染症)	出席者13名
第10回	令和7年1月16日	ケースカンファレンス、研修(腰痛予防)	出席者13名
第11回	令和7年2月13日	ケースカンファレンス、研修(虐待防止)	出席者12名
第12回	令和7年3月27日	ケースカンファレンス	出席者13名

○外部研修に参加

令和6年 5月22日	セキショウ・ウエルビーイング福祉会館大会議室	虐待をしないためのスピーチロック防止研修 「スピーチロックとは」 講師 株式会社はあもにい 大野 晴己 氏	出席者2名
令和6年 6月12日 6月13日 6月18日	動画視聴による研修	腰痛予防研修 「腰痛予防介護技術の習得」 講師 日立製作所ひたちなか総合病院 佐藤 誠 氏	出席者10名

主な事業内容

令和6年 7月10日	動画視聴による研修	第1回茨城県訪問介護員中央研修会 「在宅ハラスメント対策推進事業について」 講師 茨城県福祉部長寿福祉課職員	出席者2名
令和6年 9月27日 ～11月27日	動画視聴による研修	発達障害研修（子ども・基礎編） 「行動・発達が気になる子への視点と支援」 講師 WAKUWAKU PROJECT JAPAN 原 哲也 氏	出席者3名
令和6年 11月21日	福祉センター 研修室1	普通救命講習 「応急手当講習」 講師 高萩消防署職員	出席者11名
令和7年 1月11日	福祉センター 会議室4・5、 多目的ホール	災害ボランティア研修会 「災害ボランティアセンター運営訓練」 講師 水戸気象台職員、茨城県社協職員、 防災活動アドバイザー	出席者10名
令和7年 3月7日	福祉センター 会議室4・5	暮らしに活かす介護講習会 「家庭で実践できる介護技術の基礎」 講師 高萩市社会福祉協議会サービス提供責任者	出席者7名

④事業所体制 サービス提供責任者2名、ホームヘルパー10名

⑤訪問介護事業等経営基金の管理

ホームヘルプサービス事業所及び指定居宅介護支援事業所が行う訪問介護事業所等の健全な経営に努めました。

前年度末残高 12,052,905 円
利 息 241 円
当年度末残高 12,053,146 円

(2) 居宅介護支援事業所の運営

利用者並びにその介護者等の日常生活支援のため、関係機関、事業所と連携し、適正なケアプランの作成に努めました。

また、予防プランの作成及び、要介護認定調査を受託事業として実施しました。

①指定居宅介護支援事業

- 介護支援 ケアプラン策定者数 39名
- 介護予防 介護予防ケアプラン策定者数 19名
- 新規契約者数 14名
- 市町村被保険者認定調査数 8名

(目黒区1名、葛飾区1名、豊島区1名、川口市1名、藤沢市1名、いわき市3名)

○外部研修に参加

令和6年 6月8日	JA 常陸いき いき交流 センター	第1回高萩市ケアマネジャー連絡協議会研究会 「居宅介護支援専門員の看取りケアマネジメント」 講師 特別養護老人ホーム松籟荘 渥見 康典 氏
令和6年 9月20日	松岡公民館 大会議室	第2回高萩市ケアマネジャー連絡協議会研究会 「根拠に基づく科学的ケアマネジメントの実践」 ～LIFEやAIなどの科学技術を活用したケアマネジメント の根拠やその活用術を学ぶ～ 講師 株式会社ケアファクトリー 能本 守康 氏
令和6年 11月13日	総合福祉 センター 研修室1	第1回高萩市ケアマネジャー連絡協議会研修会 「適切なケアマネジメント手法」 講師 株式会社ケアファクトリー 能本 守康 氏
令和7年 2月19日	北茨城市役所 会議室	第2回北茨城市地域包括支援センター研修会 「実践を振り返り、地域課題を考えよう」 講師 ケアプラン ラボ 一瀬 将宏 氏

②事業所体制 介護支援専門員 1名

主な事業内容

9. 障害福祉サービス事業

(1) 障害福祉サービス事業所の運営

障がい者が、居宅において日常生活を営むことが出来るようその障がい者の状況及び環境に応じて、身体介護やの家事援助等のサービスを提供しました。

①障害福祉サービス事業

- 契約者数 5名
- 提供時間 身体介護 608 時間、家事援助 4 時間
- 内部研修

第1回	令和6年4月4日	ケースカンファレンス、研修	出席者12名
第2回	令和6年5月16日	ケースカンファレンス	出席者8名
第3回	令和6年6月13日	ケースカンファレンス	出席者10名
第4回	令和6年7月18日	ケースカンファレンス、研修(ハラスメント)	出席者10名
第5回	令和6年8月22日	ケースカンファレンス	出席者8名
第6回	令和6年9月12日	ケースカンファレンス	出席者10名
第7回	令和6年10月17日	ケースカンファレンス、研修(災害)	出席者12名
第8回	令和6年11月7日	ケースカンファレンス、研修(虐待)	出席者13名
第9回	令和6年12月12日	ケースカンファレンス、研修(感染症)	出席者13名
第10回	令和7年1月16日	ケースカンファレンス、研修(腰痛予防)	出席者13名
第11回	令和7年2月13日	ケースカンファレンス、研修(虐待防止)	出席者12名
第12回	令和7年3月27日	ケースカンファレンス	出席者13名

②事業所体制 サービス提供責任者2名、ホームヘルパー10名

(2) 相談支援事業所の運営

障がい児・者に対して、自立した日常生活や社会生活を営むことができるよう、サービス等利用計画についての相談や作成に努めました。

①障害児・者相談支援事業

- 契約者数 12名(障がい児10名、障がい者2名)
- 外部研修に参加

令和6年 5月22日	セキショウ・ウエルビーイング福祉会館大会議室	虐待をしないためのスピーチロック防止研修 「スピーチロックとは」 講師 株式会社はあもにい 大野 晴己 氏	出席者1名
令和6年 9月27日 ~11月27日	動画視聴による研修	発達障害研修(子ども・基礎編) 「行動・発達が気になる子への視点と支援」 講師 WAKUWAKU PROJECT JAPAN 原 哲也 氏	出席者1名
令和6年 10月22日	セキショウ・ウエルビーイング福祉会館中会議室	障害者相談支援従事者研修 「障害児相談支援の実際」 講師 茨城県社会福祉士会会長 竹之内 章代 氏	出席者1名
令和6年 10月24日	セキショウ・ウエルビーイング福祉会館大会議室	虐待防止研修(児童・保育分野) 「虐待及び不適切保育について」 講師 京都橘大学 宮井 研治 氏	出席者1名
令和6年 10月28日	日立保健所大会議室	ひきこもりに関する支援者研修会 「ひきこもりからの回復支援について」 講師 ユタリラ相談室 崔 暁子 氏、前田 文子 氏	出席者1名
令和6年 11月28日	セキショウ・ウエルビーイング福祉会館大会議室	発達障害研修(子どもの支援編) 「発達特性のある子への理解と支援」 講師 WAKUWAKU PROJECT JAPAN 原 哲也 氏	出席者1名

②事業所体制 相談支援員1名

主な事業内容

10. 事業継続管理会議、事業継続計画（BCP）研修及び訓練

（1）事業継続管理会議

事業継続計画の職員への周知、研修や訓練の内容等を検討するため、管理会議を随時開催しました。

第1回 令和6年6月28日 総合福祉センター社協事務所 出席者5名

- 内容①「介護報酬改定について」
- ②「事業継続計画（BCP）について」
- ③「事業継続管理会議について」
- ④「教育・訓練について」

第2回 令和6年11月11日 総合福祉センター社協事務所 出席者5名

- 内容①「教育・訓練について」

（2）事業継続計画（BCP）研修会及び訓練

災害発生時に確実に事業継続計画が運用できるよう、研修会及び訓練を実施しました。

第1回 令和6年10月17日 総合福祉センターボランティア室 出席者12名

- 研修①「事業継続計画（BCP）について」
- ②「地震災害発生時の対応マニュアルについて」 社会福祉協議会職員

第2回 令和7年1月11日 総合福祉センター会議室4・5及び多目的ホール 参加者41名

- 研修①「災害ボランティアセンターと社会福祉協議会」 茨城県社会福祉協議会職員
- ②「災害ボランティア活動と防災気象情報」 水戸地方気象台職員
- ③「災害ボランティアセンターを通じた地域のつながり」 防災活動アドバイザー
- 訓練①「災害ボランティアセンター運営訓練」 防災活動アドバイザー

11. 虐待防止及び身体拘束適正化委員会、虐待防止及び身体拘束適正化研修

（1）虐待防止及び身体拘束適正化委員会

虐待防止及び身体拘束等の適正化を図るため、委員会を随時開催しました。

第1回 令和6年6月28日 総合福祉センター社協事務所 出席者4名

- 内容①「介護報酬改定について」
- ②「虐待防止及び身体拘束適正化研修会について」

第2回 令和7年2月3日 総合福祉センター社協事務所 出席者5名

- 内容①「虐待防止及び身体拘束適正化研修会について」

（2）虐待防止及び身体拘束適正化研修会

虐待防止及び身体拘束等の適正化を図るため、研修会を実施しました。

第1回 令和7年2月13日 総合福祉センターボランティア室 出席者14名

- 研修①「高齢者・障害者虐待防止について」 社会福祉協議会職員
- ②「身体拘束等の適正化について」 社会福祉協議会職員

12. 感染症対策委員会、感染症対策研修及び訓練

（1）感染症対策委員会

感染症の予防及びまん延防止を図るため、委員会を随時開催しました。

第1回 令和6年6月28日 総合福祉センター社協事務所 出席者5名

- 内容①「介護報酬改定について」
- ②「感染症の予防及びまん延防止に向けての取り組みについて」
- ③「感染症の予防及びまん延防止のための研修及び訓練について」

第2回 令和6年11月11日 総合福祉センター社協事務所 出席者5名

- 内容①「感染対策研修会及び訓練について」

主な事業内容

(2) 感染症対策（感染症の予防及びまん延防止、BCP）研修及び訓練

感染症の予防及びまん延防止を図るため、研修及び訓練を実施しました。

第1回 令和6年12月12日 総合福祉センター社協事務所 出席者18名

研修①「令和3年度介護報酬改定における経過措置事項について」

②「感染症の基礎知識」 社会福祉協議会職員

訓練①「感染症の対応について」

②「手指消毒手順の訓練」 社会福祉協議会職員